100
伝統と革新の、その先へ
1928 - 2028

2024
August
vol.15

横浜市立大学の“今”をお届けする

YCU通信

特集：

研究の横浜市立大学

横浜市立大学卒業生担当
Facebook® ページ YCU.alumni

Facebook 横浜市立大学卒業生担当 検索

LinkedIn®
横浜市立大学カレッジページ

LinkedIN 横浜市立大学 検索

学長メッセージ

「研究の横浜市立大学」を目指して

横浜市立大学は、「研究の横浜市立大学」として地域及び社会全体の発展に貢献することを目指しています。

令和5年度には文部科学省「地方中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択され、現在、オープンイノベーション研究の推進や施設の整備を進めています。

横浜市立大学がこれからも「知の拠点」として教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすため、皆様のご支援を賜りたくよろしくお願いいたします。

石川 義弘
YOSHIHIRO ISHIKAWA
横浜市立大学 学長

特集：研究の横浜市立大学

原 広司
KOJI HARA
横浜市立大学国際商学部
准教授

横浜市と連携した子育てに関する政策提言

ハマスタディ

国や自治体では様々な子育て支援政策が検討、実施されていますが、その効果は十分に検証されていません。そこで、本学と横浜市の支援のもと「家庭と子育てに関するコホート研究：ハマスタディ」を立ち上げました。

ハマスタディは、横浜市内のご夫婦1万世帯を対象に2023年から5年間にわたって追跡調査をする、世界でも稀な大規模な研究です。子育て環境の現状、政策の認知や利用、その他さまざまな状況を把握し、変化とその要因を分析しています。例えば、妻の家事・育児時間とウェルビーイングは負の相関関係があることを明らかにしました。

また、研究成果を社会へと還元するために、横浜市と連携協定を締結し、データにもとづく制度・政策づくりを横浜市とともに進めています。本学の研究力で、より良い子育て環境づくりへの貢献を目指します。

ハマスタディ Webサイト

創立100周年記念事業「02 新たな研究創生プロジェクト」

ご支援のお願い

本学の卓越した研究力による世界の科学技術の発展や、人類の医療や福祉の発展に資するため、皆様からのご支援をお願いいたします。

主な取組

- 本学の特長的な研究への支援
- 博士後期課程学生や若手研究者への研究およびキャリア支援

※「ハマスタディ」及び「YCU共創イノベーションセンター」へのご支援については、寄附申込書(振込用紙)の備考欄へ支援対象の記入をお願いいたします。

YCU100募金 Webサイト

YCU共創イノベーションセンター

横浜市立大学と外部機関（企業等）との懸け橋となるべくYCU共創イノベーションセンター（以下、「YCU共創IC」）が2024年4月に設立されました。YCU共創ICの取組や目指す未来についてご紹介します。

共創イノベーションセンター
Webサイト

多様な専門人材が協力し新たな価値を生み出す

私たちは、地域社会や世界の課題解決に取り組むことで、市民一人ひとりのウェルビーイング（幸福感と健康）の向上を目指しています。

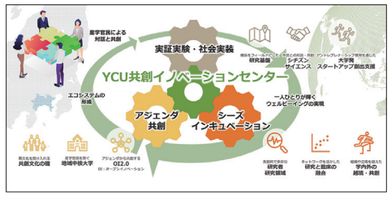
YCU共創ICのスタッフは医師、看護師、弁理士、コンサルタント等の多様な専門人材で構成され、大学、企業、政府機関、一般市民と対話・共創しながら新しいアイデアや技術を社会に役立てるための活動（オープンイノベーション）を行っています。

私たちは叶えたい未来像を実現するために横浜市立大学が育んできた先進的な研究者と研究基盤を活かし、研究領域や組織の枠、立場を超えて多様なステークホルダーと共に研究から生まれた成果を社会実装し、医療を含む多くの領域で、私たちの実生活に役立つ製品やサービスを生み出していきます。

「ここに住んでいてよかった」と思える地域・未来を

横浜市立大学の特徴である“独自性の高い研究シーズ”、“フラットな組織文化”、“独自のネットワーク”は、オープンイノベーションを推進する上で大きな強みであり、大学が持つ研究力と、国際都市横浜の多様な文化・国際性を活かして、横浜・神奈川エリアの持続可能な共創エコシステムの構築や地域産業の振興に貢献していきます。

具体的には、研究機関等が持つ技術やアイデア、市民の声から生まれたアイデアを繋げて素早く実用化し、広く提供することで、市民の皆さまのウェルビーイングの向上を目指します。



互いの経験を共有しあうことが新たなイノベーションを創出する

オープンイノベーションを推進するには、異なる専門分野の知識を持つ人々との対話が不可欠です。市民の皆様や卒業生の皆様は社会の様々な場でご活躍されており、それぞれの専門性と人脈は大変貴重な資源です。互いの経験を共感・共有し合うことで、新たなアイデアやプロジェクトが生まれることを期待しています。

ぜひ、私たちの取り組みにご理解いただき、お力添えを賜りたく存じます。

留目 真伸
MASANOBU TODOME
横浜市立大学
共創イノベーションセンター
センター長

SUNDRED株式会社 代表取締役。レノボ・ジャパン、NECパーソナルコンピュータ元代表取締役社長。

TOPICS 01

附属2病院から能登半島地震に対する災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣しました！

2024年元日に発生した能登半島地震において、附属2病院から災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣し、被災地での医療支援活動を行いました。

活動概要

附属病院
派遣期間： 1月11日～17日　**派遣人数（職種）：** 4名（医師、看護師、臨床工学技士）
活動内容： 被災した医療機関や施設等の救援物資に係る連絡調整

附属市民総合医療センター
派遣期間： 1月11日～17日　**派遣人数（職種）：** 6名（医師、看護師、診療放射線技師、救急救命士）
活動内容： 避難所における被災者の健康状態の把握、診察や新型コロナウイルス検査、福祉施設（被災地）から高齢者の搬送

※上記活動以外にも、様々な形で2病院の職員計8名が能登半島地震支援活動に従事しました。

VOICE（派遣者の声）

能登では想像を超える支援者が全国から集まり、ニュースなどで見る以上に凄まじい勢いで復興が進められていました。その中で私たちは珠洲DMAT活動拠点本部の物資支援担当として活動をしてきました。具体的には、病院や施設に連絡し物資の過不足などの現状を確認し、集約したものを石川県と調整するという内容でした。物資の供給遅れや供給不足もあり、県職員と市職員と共に検討を進め必要な物資が供給されることを目指しました。

今回の活動を通じて、平時から地域や行政と連携し災害対策に取り組む必要性を再認識する機会となりました。今後は災害発生時における被害の最小化に向け、平時からの災害対策に取り組んでいきたいと思います。

前原 則子
NORIKO MAEHARA
附属病院看護部
業務推進担当

市大センターDMATは現場という最前線で1週間の活動にあたりました。1人でも多くの被災者を遠方へ避難させることが本部からの要望でしたが、ライフラインの問題があり水や食料も十分でなく、限られた医療資源の中での活動は非常に大変でした。また冬季ということもあり雪道の搬送で危険を伴っていましたが、無事に任務を遂行出来ました。

今回支援を行う中で、断水は液状化現象が大きく影響しており横浜でも起こり得ることから他人事ではなく日頃からの準備がいかに重要か学びました。今回の経験を活かして院内での災害訓練を充実させるため尽力していきたいと考えています。

武田 知晃
TOMOAKI TAKEDA
附属市民総合医療センター
高度救命救急センター助教

TOPICS 02

データの持つ力を最大限に活用して社会課題を解決する人材を育成

生成AIなど新たなデジタル技術が登場する中、我が国の課題であるDX推進人材の不足に対応するため、2025年に大学院データサイエンス研究科博士前期課程、2027年にデータサイエンス学部の入学定員の増員を予定しています。教員の増員や研究室・演習室の整備を通して、高度情報専門人材の輩出を加速化します。

TOPICS 03

医学部・病院等再整備計画について

市内唯一の公立大学として教育・研究・診療の機能を有する横浜市立大学は、更なる飛躍・発展に向け、医学部、研究施設及び病院の再整備を計画しています。新医学部・研究施設は根岸住宅地区に、新病院はかつて医学部や病院等のあった浦舟地区での整備を予定しています。

TOPICS 04

活躍する市大生

メモリースポーツで日本ランキング1位！

受賞・採択
- YCU Student Award（2022年度）
- NIコンサルティングチャレンジプログラム第1期奨学生（2023年度）

ランキング
- 世界ランキング 7位（2024年5月現在; Memory League）
- 日本ランキング 1位（2024年5月現在; International Association of Memory）

主な大会成績
- IAM European Open Memory Championship 2023 全体9位・日本記録更新
- Asian-Oceanian Open 2023 ベスト8入賞
- Japan Memory League Championship 2023 準優勝

外園 清香さん
SAYAKA HOKAZONO
生命医科学研究科1年

メモリースポーツとは

その名の通り、「記憶力」を競う頭脳競技です。例えば、トランプや数字、顔と名前などの種目があり、これらをどれだけ「速く・正確に・たくさん」覚えられるかを競い合います。記憶力は先天的な能力だと思われがちですが、実はトレーニングによって大きく伸ばすことができます。1ヶ月ほど練習すれば、シャッフルされたトランプ1パックの並び順を5分で覚えることも夢ではありません。年齢や体力に関係なく、老若男女誰でも楽しむことができることも大きな魅力です。

競技と研究活動を両立

現在私は大学院 博士前期課程に在籍しており、毎日研究室に登校しています。普段は、日中は研究活動に集中し、夕方や帰宅前の息抜きとしてメモリースポーツの練習をしています。大きな試合が近い時期には、夜や休日に集中特訓を行っています。メモリースポーツのトレーニングでは、主にオンラインのプラットフォームを用いており、時間や場所に制限されることなく気軽に練習に取り組むことができます。そのため、学業との両立がしやすい点が強みです。

今後の目標

私の夢は、世界記録の更新です。私は、「顔と名前の記憶」を最も得意としており、この種目での現在の世界記録は「29.17秒で30人」です。この記録を塗り替えることを目指し、新たな練習方法の模索や国内外の選手らとの交流をしながら日々練習に励んでいます。また、より多くの人に「覚えることの楽しさ」を知ってもらうことも目標の一つです。将棋やチェスのように、メモリースポーツを誰もが知る頭脳競技にすることを目指し、普及活動にも力を入れて取り組んでいます。

理事長・学長・教員管理職のご紹介

2024年4月1日に公立大学法人横浜市立大学理事長および横浜市立大学学長が新たに就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

理事長

近野 真一
SHINICHI KONNO

学 長

石川 義弘
YOSHIHIRO ISHIKAWA

副学長
（国際総合科学群担当）

橘 勝
MASARU TACHIBANA

副学長
（医学群担当）

宮城 悦子
ETSUKO MIYAGI

副学長
（研究担当）

小川 毅彦
TAKEHIKO OGAWA

国際教養学部長

鈴木 伸治
NOBUHARU SUZUKI

国際商学部長

和田 淳一郎
JUNICHIRO WADA

理学部長

佐藤 友美
TOMOMI SATO

データサイエンス
学部長

山崎 眞見
MASAMI YAMASAKI

医学部長

中島 淳
ATSUSHI NAKAJIMA

医学部
看護学科長

赤瀬 智子
TOMOKO AKASE

都市社会文化
研究科長

松本 郁代
IKUYO MATSUMOTO

国際マネジメント
研究科長

白石 小百合
SAYURI SHIRAISHI

生命ナノシステム科学
研究科長

立川 仁典
MASANORI TACHIKAWA

生命医科学
研究科長

池口 満徳
MITSUNORI IKEGUCHI

データサイエンス
研究科長

土屋 隆裕
TAKAHIRO TSUCHIYA

医学研究科長

緒方 一博
KAZUHIRO OGATA

YCU100募金へのご協力のお願い

寄附の目的

- 00 大学一任
- 01 ビジネス人材育成・留学支援プロジェクト
- 02 新たな研究創生プロジェクト
- 03 学生生活・環境改善プロジェクト
- 04 医学部・病院再整備プロジェクト

- 一口あたりの金額は定めておりません。
- インターネットからもお申込みいただけます。
- 税制上の優遇措置や手続きについてはWebサイトをご覧ください。

税制上の優遇措置の詳細

- 詳しくは大学Webサイトまたはリーフレットをご覧ください。

YCU100募金 Webサイト

問い合わせ先

横浜市立大学基金担当
TEL：045-787-2447
E-mail：kifu@yokohama-cu.ac.jp

みらいにつなぐ市大の歴史

2028年の創立100周年に向けて、2023年度は百年史制作をサポートしてくれる業者を決定しました。2024年度はいよいよ、百年史制作に向けて大きく動き出します。

今年度（2024年度）も市大の歴史の発掘そして百年史作成に向けて取り組んでまいります。

「もうすぐ100周年リーフレット」作成

11月頃発行予定

もっと市大を好きになっていただけるよう、みなさんにぜひ知っていただきたい本学の情報を盛り込んだリーフレットを発行します。

「みらいにつなぐ市大の歴史」継続刊行

本学の歴史を紹介するリーフレット「みらいにつなぐ市大の歴史」。今年度も6月と12月にリーフレットを発行予定です。ぜひ、ご覧ください。

「横浜市立大学周年史デジタルアーカイブ」公開中

現在の収録資料点数は、1,897点です。市大の思い出、また、昔の浜大祭の写真や校舎等、「懐かしい市大」をご覧になれます。

横浜市立大学周年史
デジタルアーカイブ

総合体育館の舞台機構が新しくなりました！

前号のYCU通信でも取り上げた、卒業式や入学式で使用する総合体育館の舞台装置が修繕され、式典の背景幕とバナー（垂れ幕）が新しくなりました。

この改修工事では、皆様からのご寄附を工事費用の一部に活用させていただきました。ご寄附くださった皆様、本当にありがとうございました。大学創立100周年に向け、引き続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

100周年記念事業Webサイト

卒業生イベント2024のお知らせ

卒業生イベントの詳細

横浜市立大学では、2024年11月に2つの卒業生対象イベントを開催します。いずれのイベントも、
参加費無料で卒業生だけでなく一般の方も含めどなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください！

11.03 Sun　ホームカミングデー

※当日は、浜大祭も開催しています。

今年度は、創立100周年記念事業の1つである「横浜市立大学の歴史を知る講演会」と共同開催とし、国際教養学部に関する講演会を開催します。

日　時： 11月3日（日）13時～14時（予定）　**場　所：** 横浜市立大学 金沢八景キャンパス
講　師： 横浜市立大学 加藤祐三名誉教授・鈴木伸治国際教養学部長

加藤祐三 名誉教授

昨年に引き続き「浜大会大交流会2024」（市大同窓会主催）開催決定！

浜大祭とあわせて、市大同窓会主催の「浜大会大交流会2024」が開催されます。ぜひご参加ください！

日　時： 11月3日（日）15時～17時（受付：14時30分）　**場　所：** 横浜市立大学 金沢八景キャンパス シーガルセンター1F
申込・問合せ先： 市大同窓会（E-mail：ycureunion@gmail.com／TEL：045-681-6575（月・水・金））

11.30 Sat　卒業生のためのオープンキャンパス

いちょう並木が綺麗に紅葉する季節に、1日だけ学生時代に戻ってゆっくりとキャンパスで過ごしていただける卒業生向けのキャンパス開放デーを設けます。

日　時： 11月30日（土）11時～16時　**場　所：** 横浜市立大学 金沢八景キャンパス

※当日に金沢八景キャンパス内で同窓会を希望するグループを募集予定です。

昨年に引き続き「理科系大同窓会2024」開催決定！

「卒業生のためのオープンキャンパス」とあわせて、理科系大同窓会を開催します。
理科系卒業生の方はぜひご参加ください！

日　時： 11月30日（土）13時～15時　**場　所：** 横浜市立大学 金沢八景キャンパス

理科系大同窓会の詳細

メールアドレス登録と住所変更連絡のお願い

大学Webサイトで住所や勤務先の変更手続きができるようになりますので、メールアドレスのご登録をお願いいたします。なお、住所変更については、卒業生担当へのメールまたは電話でも受け付けております。

メールアドレス登録・住所変更等の詳細

バックナンバー

YCU通信
バックナンバー

横浜市立大学 卒業生担当

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL：045-787-2026
E-mail：obog@yokohama-cu.ac.jp

2024年8月発行